

令和4年度 地域課題解決マッチング事業

作り手募集及びマッチングイベント開催要項

金沢市民が抱える地域課題を探り出し、その地域課題を ICT の力で解決する「シビックテック活動」を支援し、推進を図ります！

【募集期間】 令和4年9月27日（火）～令和4年10月21日（金）

1 地域課題解決マッチング事業全体の流れ

地域課題（お困りごと）募集

【7月21日（木）～8月19日（金）】

市民等の皆さまから、具体的な地域課題（お困りごと）を募集します。

今回の募集はココ！

作り手募集

【9月27日（火）～10月21日（金）】

応募があった地域課題（お困りごと）を公開し、ICT を活用してその課題の解決に取り組んでみたい「作り手」を募集します。

マッチングイベントの開催

【11月2日（水）19：00～（予定）】

課題応募者や作り手などが、ICT を活用した解決アイデアについてディスカッションを行うイベントを開催します。

解決チームの結成

マッチングイベント後、解決アイデアの実現に向けて協働を行うことが可能な場合は、課題応募者と作り手で「解決チーム」を結成します。

解決に向けた支援の決定

【2月頃予定】

解決チームで ICT を活用した解決アイデアの企画書をまとめ、それを事務局で審査の上、支援の可否を決定します。
※支援金は1チームあたり10万円を予定

2 事業の目的

市民自らが、テクノロジーを活用して、自らの望む社会を創り上げるために地域課題を解決する取り組みや考え方をシビックテック（Civic（市民）とTech（テクノロジー）をかけた造語）といいます。

市民の皆さまが抱える地域課題を探り出し、その地域課題をICTの力で解決するシビックテック活動を、本事業を通して支援し、その周知と推進を図ることを目的としています。

3 応募された地域課題（お困りごと）

No.	地域課題（お困りごと）
(1)	【シングルマザーに対する情報提供アプリが欲しい！】 シングルマザーに対する情報提供ができるアプリ等があると助かります。 現在はFacebookグループ (https://www.facebook.com/groups/ksmama) で誰でも情報提供ができるようにしてありますが、見る人もFacebookに登録していないといけなし、他の情報に埋もれてしまっていて必要な人へ届きづらいと思っています。 もっと気軽に支援者と受益者をつなげることができればと思っています。
(2)	【スクールサポート隊用のマップを作成したい！】 四十万版のスクールサポート隊(見守り隊)マップを作成したい。 長坂台校下で利用されている見守りアプリをベースに、市内に普及して欲しい。
(3)	【古紙集団回収を地域と一体で取り組みたい！】 古紙集団回収をより地域一体として取り組みたい。 昨年度当事業でマッチングした「古紙等回収拠点アプリ」の、地域版のようなアプリが欲しい。
(4)	【地下道の利便性を向上させたい！】 四十万校下にある地下道が使い勝手が悪く活用されていない。 加賀産業道路を横断する地下道の為、ここを利用する事ができれば小学校の通学路にしたい。課題として不審者対策、緊急通報対策などが挙げられる。
(5)	【高齢者の買い物をサポートしたい！】 私が住む栗崎地区はスーパーがなく移動販売が定期的に来ています。 高齢化が進み住民は移動販売先まで往復することも難しく、お米や飲料など重いものを購入し持ち帰ることも大変な状況です。 そこで 地域住民の方から注文を頂き商品を届けたい。(なまものよりも日持ちのもの)
(6)	【用水への転落事故を防ぎたい！】 昨今、用水の転落事故が多発しています。その背景には夜、歩いているときにどこに用水があるか分からないことが原因だと思います。そこで、用水を照らす照明を用水の水力を使い発電するICTをできないか考えました。 夜の用水を照らす灯があることで子どもの通学路の安全や地域住民の転落防止または、金沢の用水の風景としての魅力もアップできるのではないのでしょうか？
(7)	【聴覚障害者に対する医療機関での対応状況を知りたい！】 聴覚障害のある人に対する病院の対応状況などが、事前に分かると良い。

(8)	<p>【アパート、マンション、シェアハウスの居住者も町会の活動に取り込みたい！】</p> <p>彼らと町会役員や他の会員との顔をどうやってつないでいくか。</p> <p>どんな企画をすれば彼らが参加したいと感じるようになってくれるか。</p> <p>どこにどんな人が入居しているかをどうやって確認するか。(災害対応や連絡物の配布に必須だが、運営会社には部屋の入居・空室の情報を開示してくれないところもある。)</p>
-----	--

※地域課題に不明な点やお尋ねしたいことがありましたら、金沢シビックテック推進協議会事務局までお問い合わせください。

4 作り手募集について

(1) 募集の内容

前項の地域課題（お困りごと）について、課題応募者と ICT を活用した解決に取り組んでみたい「作り手」を募集します。

(2) 応募の条件

課題応募者と ICT を活用して解決に取り組んでみたい以下のいずれかの方

- ・ ICT を活用してアプリ開発などができる方
- ・ ホームページなどのデザインができる方
- ・ 地域課題に興味があり、解決に向けて一緒に考えてみたい方

※高校生以上の方（居住地は問いません。）

(3) 興味がある課題の選択について

応募時に、興味がある地域課題（お困りごと）を **3つまで** 選択してください。

その結果を参考に、マッチングイベントにて解決アイデアを検討する地域課題（お困りごと）を5つ程度選定します。

(4) 課題の解決方法について

アプリ等の開発など、ICT を活用して課題解決に取り組むこととします。

- ・ ノーコードツール（Glide 等）を活用したアプリ等の開発
 - ・ Google マップ等、既存のウェブサービスの活用
- なども含みます。

(5) 応募のパターンについて

「個人」または「チーム」でご応募いただけます。

①個人で応募の場合

- ・単独で解決チームを結成して解決に取り組むことも、他の作り手と解決チームを結成して取り組むことも可能です。

②チームで応募の場合

- ・あらかじめ解決チームを結成し、メンバー全員の氏名等を記入の上、ご応募ください。
- ・応募した解決チーム単独で解決に取り組むことも、他の作り手と解決チームを結成して取り組むことも可能です。

(6) 募集期間

令和4年9月27日（火）～ 令和4年10月21日（金）

(7) 応募方法

以下のどちらかの方法でご応募ください。

①金沢市電子申請サービスによる応募

金沢市電子申請サービスにアクセスし、必要事項を入力の上、ご応募ください。

https://s-kantan.jp/city-kanazawa-ishikawa-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=2551



②応募申込書による応募

応募申込書に必要事項を記載し、電子メールにてご提出ください。

○電子メール

金沢シビックテック推進協議会事務局（金沢市市民協働推進課内）

kyoudou@city.kanazawa.lg.jp

※応募申込書は以下よりダウンロードしてください。

<https://kanazawa-civic-tech.jp/matching/>



5 マatchingイベントの開催について

(1) Matchingイベントへの参加

ご応募いただいた「作り手」と課題応募者が、ICTを活用した解決アイデアについてディスカッションを行うイベントを開催しますので、ご出席をお願いします。

【Matchingイベントの開催日時等（予定）】

日時：令和4年11月2日（水）19：00～21：00

場所：金沢学生のまち市民交流館 交流ホール（金沢市片町2丁目5番17号）

※新型コロナウイルス感染症の流行状況により、変更となる場合があります。

Matchingイベントでディスカッションする地域課題は、作り手が応募時に選択したものを参考に、5つ程度選定します。

(2) Matchingイベントの流れ

Matchingイベントは以下の流れで開催予定です。

- ①課題応募者が、課題の概要についてプレゼンテーションを行います。
- ②課題応募者と作り手が、課題の解決アイデアについてディスカッションを行います。
 - ・各課題応募者のテーブルを作成します。
 - ・作り手は興味がある課題のテーブルを回り、課題の詳細についての質問や、解決アイデアについてディスカッションを行います。
- ③課題と作り手をマッチングします。
 - ・作り手は、解決に向けて取り組んでみたい課題を選択します。（複数可）
- ④解決チームを結成します。
 - ・マッチングした課題応募者と作り手で、解決アイデアの実現に向けて協働を行うことが可能な場合は、「解決チーム」を結成します。
 - ・一つの課題に対して複数の作り手がマッチングした場合、可能な場合は複数の作り手で解決チームを結成します。それが難しい場合は、課題応募者が、どの作り手と解決チームを結成するか選択します。

6 マッチングイベント後について

(1) 解決アイデアのブラッシュアップ

- ・解決チームで、マッチングイベント時に検討した解決アイデアをブラッシュアップします。

(2) 解決アイデア実現に向けた企画書の作成

- ・解決チームで、ブラッシュアップした解決アイデアを簡単な企画書にまとめ、事務局へ提出します。(令和4年12月末頃まで)

(3) 企画書の審査

- ・提出された企画書を金沢シビックテック推進協議会で審査し、支援の可否を決定します。
- ・支援の可否は、「課題解決につながるか」「実現可能か」「継続的に運用可能か」などの視点から、総合的に判断します。

(4) 開発支援

- ・企画書を審査し、支援可と決定した場合は、1解決チームあたり10万円の支援金を支給します。(支給は1解決チームあたり1回です。)
- ・そのほか、金沢市の担当部署との調整やデータ提供など、非資金的な支援についても可能な範囲で実施します。
- ・課題を解決するアプリ等は、概ね令和5年9月末頃までの完成・公開を目指すこととします。(開発するプログラムは原則オープンソースとします。)
- ・概ね2年間、年度ごとに解決チームの簡単な活動報告書を提出いただきます。

7 注意事項

- ・マッチングイベントの結果、結果的にマッチングしない可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
- ・開発したアプリ等については、主催者及び金沢市のホームページ等で紹介させていただきますので、あらかじめご了承ください。
- ・応募に当たって提供される個人情報及び法人連絡先情報等は、本事業の運営、主催者及び金沢市の関連事業に使用される場合があります。あらかじめ応募者の同意がある場合、または法令などに基づく場合を除き、記載いただいた個人情報及び法人連絡先情報等を第三者に提供しません。
- ・本事業の実施、内容、スケジュールその他について、予告なく変更等する場合があります。

【応募・問い合わせ先】

金沢シビックテック推進協議会事務局（金沢市市民協働推進課内）

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号

TEL：076-220-2026 FAX：076-260-1178

Email：kyoudou@city.kanazawa.lg.jp